

特定外来生物 オオキンケイギクを刈り取ろう!

オオキンケイギクとは北アメリカを原産とするキク科の多年生草本で、5月から7月頃にかけて、鮮やかな黄色の花を咲かせます。19世紀後半に、観賞用、緑化用として導入され、全国的に分布しました。しかし、非常に強い生命力で、周りの生態系に悪影響を及ぼす危険があるため、平成18年に「特定外来生物」に指定されました。

○処理方法

ご自宅の庭に生えている場合など、少量を処理するときは、下記のとおりお願いします。大量に処理するときは、環境省米子自然環境事務所にお問い合わせください。

- 1 根から引き抜く
(引き抜くことが困難な場合は、種がつく前に刈り取る)
- 2 2、3日天日にさらすなどして枯らす(飛散しないように)
- 3 ビニール袋などに密閉して、燃えるごみとして処分する

【問い合わせ先】 商工観光課 ☎68-4211
環境省米子自然環境事務所 ☎34-9331
特定外来生物については、環境省のHPをご覧ください。 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>



★認知症の初期症状をチェックしてみましょう。

このチェックリストは、現在の状態をご自身や家族が簡単に知ることができるものです。

以下の質問項目に答え、次の基準で点数をつけて下さい。

- ① 同じ話を無意識に繰り返す
- ② 知っている人の名前が思い出せない
- ③ 物のしまい場所を忘れる
- ④ 漢字を忘れる
- ⑤ 今しようとしていることを忘れる
- ⑥ 器具の説明書を読むのを面倒がる
- ⑦ 理由もないのに気がふさぐ
- ⑧ 身だしなみに無関心である
- ⑨ 外出をおっくうがる
- ⑩ 物(財布など)がみあたらないことを他人のせいにする

採点法

- ほとんどない → 0点
- ときどきある → 1点
- 頻繁にある → 2点

合計 点 (大友式認知症予測テスト-認知症予防財団HPより抜粋)

- 0～8点 ⇒ 正常です
- 9～13点 ⇒ 要注意!
- 14～20点 ⇒ 認知症の始まり?

★現在、伯耆町HPにも掲載しています。気軽にチェックしてみましょう!
なお、この結果だけで認知症の診断はできません。あくまで認知症を疑うための目安です。もしかして…と思ったら、まずは、下記までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】
伯耆地域包括支援センター(健康対策課生活相談室内) ☎68-4632

「認知症って、どんな病気?」
認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きの悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態をいいます。認知症は、誰にでも起こる可能性がある病気です。正しい知識をもち、日々の生活での予防につとめながら、早期発見・早期対応をすることが大切です。

「早期発見が大切な理由は…」
認知症の中には、治療すると治る病気もある。
・早期の治療やケアによっては、進行を遅らせることができる。
・本人や家族に余裕が生まれる。
認知症が疑われるサインに気づいたら、身近な相談窓口やかかりつけ医に相談しましょう。

地域包括支援センターNews
認知症は、早期発見・早期対応が大切です。